



保健だより 2 月号

「笑顔輝く鳥商生の健康を願って」



検定合格に向けて頑張ろう！

令和 3 年 2 月 1 日
鳥取商業高等学校

1 月末に学校薬剤師が来校され、教室の空気、照度、騒音の検査をしていただきました。

「したつもい」でなく、「本気でしよう」教室の換気！

○教室の二酸化炭素濃度は、基準値0.15%(1500ppm)以下が望ましい。

空気の通り道を確保しよう！

欄間だけでなく、足元の戸を開けておくと空気が循環します！

【二酸化炭素濃度】学校環境衛生検査表が変更になり「①授業開始、②15 分後、③30 分後、④授業終了後」の 4 回測定することになりました。2 クラスを測定しました。A は 15 分後から窓・欄間を開けた場合、B は休憩時間に十分な換気をしたが、その後締め切った場合です。

【A：15 分後から窓・欄間を開けた場合】

【B：授業中締め切った場合】

15 分後から、
窓・欄間を開けて
換気した場合

①授業開始	1 6 0 0 ppm	①授業開始	9 0 0 ppm
②15 分後	7 5 0 ppm	②15 分後	1 4 0 0 ppm
③30 分後	9 5 0 ppm	③30 分後	1 8 0 0 ppm
④授業終了後	7 0 0 ppm	④授業終了後	2 2 0 0 ppm 超

A は「空気の通り道を確保することで、良好な環境が保たれている」との所見でした。

【照度】

情報処理室は、昨年度カバーを外し電球の取り換えも行ったため、「適正」でした。教室は、LED 電球が設置されています。測定日が晴天だったため、明るすぎる結果でした。後日再検査の予定です。

【騒音】 問題はなく、適正です。

「新しい生活様式」定着への提言②（学校薬剤師より）

換気はコロナなどのウイルスの感染対策や集中力の維持にも必要です。教室において、文部科学省が推奨する 1 m 以上の人との距離が保てない環境のもとでは、特に重要となってきます。先日、換気を目安となる空気中の二酸化炭素濃度を測定しました。授業前に、十分な換気をして授業 30 分後には基準値を超え、終盤には大幅に超える結果となりました。常に欄間は開放し、可能ならひざ掛けのような寒さ対策をして、廊下と反対側になる窓も開けて空気の通り道を作るようにしてください。

食事や睡眠など規則正しい生活や運動で体の抵抗力を高め、生徒の皆さまが健康に学校生活を送ることができるよう祈っています。（よつば薬局 平岩陽子 学校薬剤師より）